



PRESS KIT 2017

そこは、新しいが渦巻く場所

これからの100年を
おもしろくする、
100のプロジェクトが
はじまります。

100BANCH、始動。

常識にとらわれない

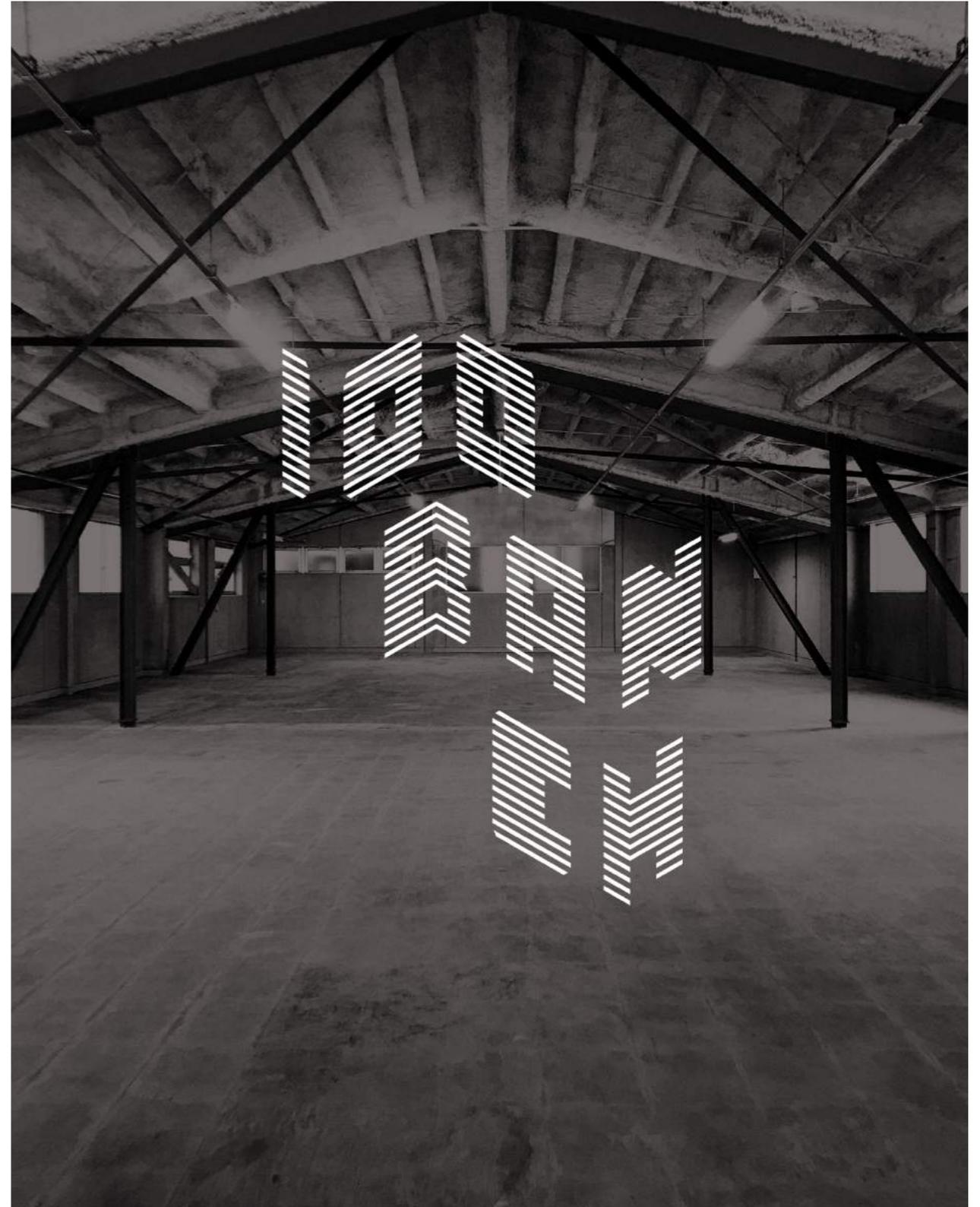
若いエネルギーの集まりが、

100年先の未来を豊かにしていく。

100BANCH、それは、

100個のプロジェクトがうごめく実験区。

渋谷から、新しい未来が動き出します。



舞台は100年に1度の大規模開発で 変わる渋谷、新南口エリア



100年前の渋谷駅



未来へと変わる新南口エリア

きっかけは、2018年に迎える
パナソニックの創業100周年

100

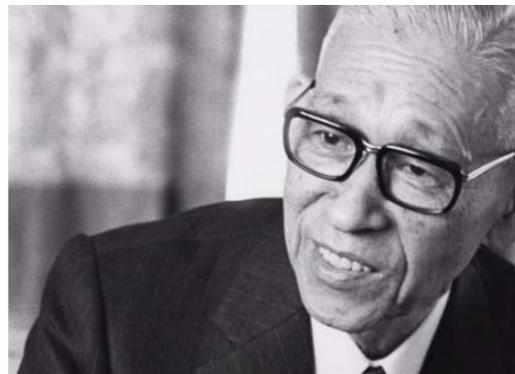
100th Anniversary

Panasonic

100BANCH構想のインスピレーション

松下幸之助による壮大な250年計画

“建設時代10年、活動時代10年、
社会貢献時代5年、計25年を1節とし
これを10節繰り返し、
250年後に楽土の設立を達成する”



3社共同プロジェクト

企業の枠を超えて、
100年先をおもしろい
方向へと動かす。

Panasonic



則武里恵

パナソニック株式会社コーポレート戦略本部
経営企画部 未来戦略室

パナソニックの創業者 松下幸之助は15歳の頃、電灯に照らされた大通りを走る電車を見て、電気を生業とすることを心に決めたと言います。大きな夢と野心をもって自宅の「ガレージ」で創業したのが23歳の頃。そこから100年を迎えたこの時代にも、若い世代の野心的な挑戦から、次の「あたり前」が生まれてくるはず。そんな思いから100BANCHをつくりました。どんどん発展する渋谷の街に未来の兆しを捉え、エネルギーの赴くままに大胆に挑戦する。意欲的な若者たちとの挑戦を楽しみにしています。

CAFE COMPANY



楠本修二郎

カフェ・カンパニー株式会社 代表取締役社長

僕たちの未来はどんな社会なのだろう。あなたは、人口減少をはじめとする様々な課題に対して、落胆し、希望を見出さない側で生活するのか？ それとも、課題先進国としての自覚を持って変化の時代をチャンスと捉えて生きるのか？ さあ、人生としてどちらを選びますか？ 日本はこれからの時代、ライフスタイル立国として世界からリスペクトされる大きなチャンスが来ると思っています。ただ単に「食」ととどまらず、食べることを通じた新しい生活提案や生き方、新しい未来へのケーススタディ、そんなコトを創っていきたいと思っています。

loftwork



林千晶

株式会社ロフトワーク 代表取締役

未来は、予想しようとするとうる遠ざかる。でも、どんな未来がいいか素直に想像すると、急に視界はひらけ、どんどんイメージが広がっていく。そんな存在ではないだろうか。100BANCHは、未来をつくる実験場。どの実験が成功するかは、誰もわからないし、問題でもない。大切なのは、やってみること。持てる限りの力で、挑戦すること。一人一人のエネルギーが、大きなうねりをつくって、欲しい未来を形づくる。そう信じている。



ロゴデザインについて

100BANANCHという名前は、「まだここにはない、未知の場所」という意味。

またエネルギー溢れる人間が集結する「束」を意味する「BUNCH」という英単語に由来しています。

ロゴを構成する120度に傾いた線は、交差したり束になったりしながら、100BANANCHにまつわるさまざまなシーンでサインや装飾として使われます。

これからの100年をつくる個性が交差し、渋谷から世界を動かす特異点をつくり出してゆく場所に相応しい名前とロゴになるようにデザインしました。



これからの
100年をつくる、
ここが始まりです。

3F LOFT
2F GARAGE
1F KITCHEN
100bench.com

新たな食体験探求拠点/カフェ“アジト”

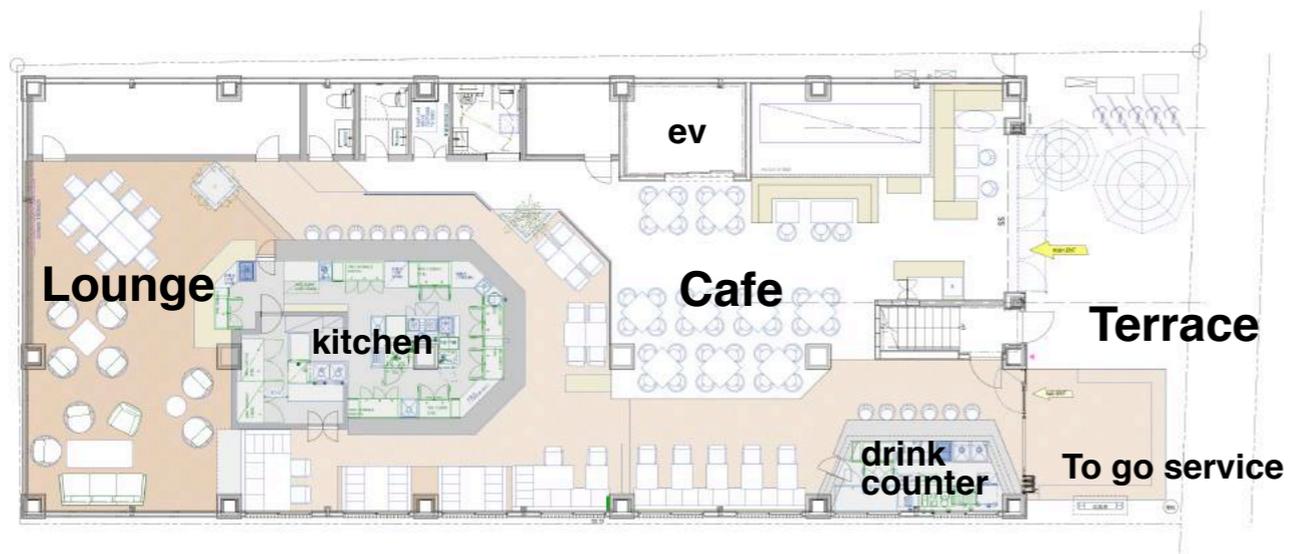
1F KITCHEN

CAFE COMPANYが手がける

未来に向け、新たな食の体験を探求するカフェスペース

渋谷に本社を置き、2001年の創業1店舗目も渋谷であるCAFE COMPANYが企画・運営を手がけるカフェが今秋にオープン予定。

“食”を中心としたライフスタイルとコミュニティの創造をテーマに掲げるCAFE COMPANYが100BANCHで展開するカフェをぜひお楽しみに。

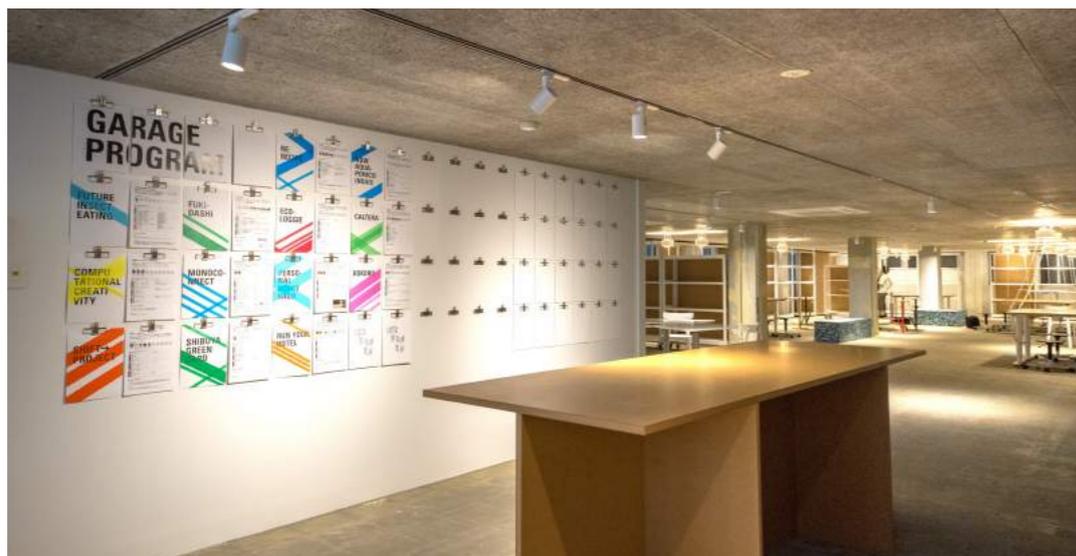


100プロジェクトのワークスペース

2F GARAGE

U35を中心とした多彩なプロジェクトのためのワークスペース
プロセスをオープンにし訪れる人を巻き込んだ活動ができる

これからの100年をつくる35歳以下の若者らを支援するアクセラレーションプログラム「GARAGE Program」のワークスペース。チーム構成、活動内容が異なるさまざまなプロジェクトが同時多発的に活動できるように、自由にスペースを組み替えることが可能。常時5~10組程度のプロジェクトチームがこの場を拠点に活動します。プロトタイプの展示やミーティングなど、訪れる人々と交流しながらプロジェクトを発展していくオープンなスペースです。



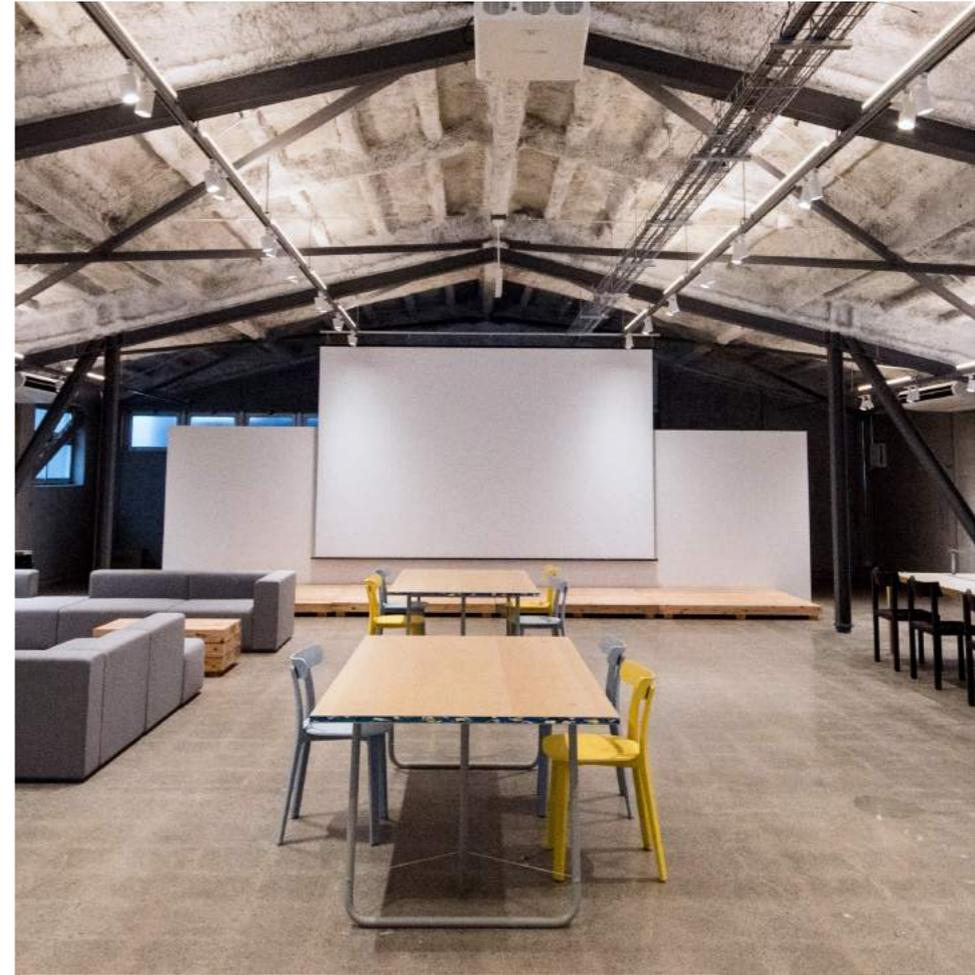
パナソニックの未来創造拠点

3F LOFT

新たな価値を探求するパナソニックの未来創造拠点
ワークショップや発表会にも使えるイベントスペース

2018年に100周年を迎えるパナソニックが次の100年を創り出すために新設したコラボレーションスペース。未来の兆しを捉え、さまざまなパートナーとともに新たな価値を創造することを目指します。コンセプトモデルや実験段階の商品・サービスにも触れられます。

夜間や週末には一般にも開放し、100人規模のイベントスペースとしてさまざまな利用が可能。200inchのスクリーンを使った上映会、飛騨の無垢材を使ったステージでの演奏会や演劇発表など、多様な活動が実施されていきます。



設計・デザイン

スキーマ建築計画 長坂 常

100BANCHの空間デザインは、「これからの100年をつくる」というテーマが固まったのを機に、一気に進んでいきました。とはいえ、「これからの100年を考える若者たちを集める場所にします」というだけで単純に空間が作れる話ではない。そこで、この場所で起こる出来事をイメージし、活動内容の変更やチーム編成の変更など、いろいろな動きや変化、その時々文化にフレキシブルに対応できる自由度の高いスペースを考えました。2Fは、刻々とプロジェクトの構成が変わるのに併せて家具だけでなく、照明や電源も動かせるようにしています。照明は、松下幸之助さんが創業期に開発した二股ソケットの現行品をつかった照明を新たにデザインしています。そのほか100BANCHでは、スキーマ建築設計としては珍しく家具を数多くデザインしているのも特徴です。この空間は、若者に思い切り使い倒してもらって、ボク自身が「こんな使い方するんだ」って驚くような使い方をしてもらえるといいなと思っています。

WORKS



Blue Bottle Coffee Kiyosumi-Shirakawa
Roastery & Cafe

photo : Takumi Ota



Nakagawa Masashichi Shoten Omotesando
shop & office

photo : Kenta Hasegawa



JINS Ageo Shop Renovation

photo : Kenta Hasegawa



OKOMEYA

photo : Kenta Hasegawa



長坂 常 (ながさか じょう)

スキーマ建築計画

スキーマ建築計画代表。1998年東京藝術大学卒業直後にスタジオを立ち上げ、シェアオフィス「HAPPA」を経て、現在は青山に単独でオフィスを構える。仕事の範囲は家具から建築まで幅広く及び、どのサイズにおいても1/1を意識した設計を行う。国内外でジャンルも問わず活動の場を広げる。日常にあるもの、既存の環境の中から新しい視点や価値観を見出し、デザインを通じてそれを人々と共有したいと考えている。

GARAGE PROGRAM

RE: RECIPE

NOW AQUAPONICS! (NOAQ)

FUTURE INSECT EATING

FUKI-DASHI

ECO-LOGGIE

CALTERA

MONOCONNECT

PERSONAL ROBOT HACO

KOKORO

COMPUTATIONAL CREATIVITY

SHIFT → PROJECT

SHIBUYA GREEN CARD

RUN YOUR HOTEL

100BANCHの中核を担う GARAGE Programについて

これからの100年をつくるプロジェクトを推進するアクセラレーションプログラム

GARAGE Program

プロジェクトへの支援内容

これからの100年をつくるU35の若者リーダーのプロジェクトを推進するアクセラレーションプログラムが、GARAGE Programです。随時公募を行い、審査を通過したチームはプロジェクトスペースやイベントスペースを無償で利用可能。100のプロジェクトが未来へ向けた実験を展開していきます。



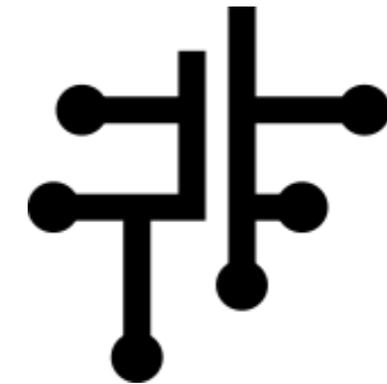
プロジェクトスペースの提供

プロジェクト専用スペース「GARAGE」は、活動の拠点としてだけでなく、プロトタイピングや展示の場としても使えるスペースです。プロジェクトの可能性を広げる多様な空間を無償で提供します。



トップランナーによるメンタリング

業界を牽引するトップランナーたちが、それぞれのプロジェクトにメンターとして参加します。マンスリーミーティングでの定期的な進捗共有と課題解決に向けたディスカッションに加え、プロジェクトの実現に向けて、実践者としてのアドバイス、サポートを行います。



多様なネットワークの提供

グローバルに展開するパナソニック、2万人を超えるクリエイターネットワークを持つロフトワークをはじめ、100BANCHOに集う多様な会社、個人のネットワークを提供し、プロジェクトの推進や新たな活動のきっかけにつなげていきます。

GARAGE Program

若者たちの活動をサポート する21人のメンター

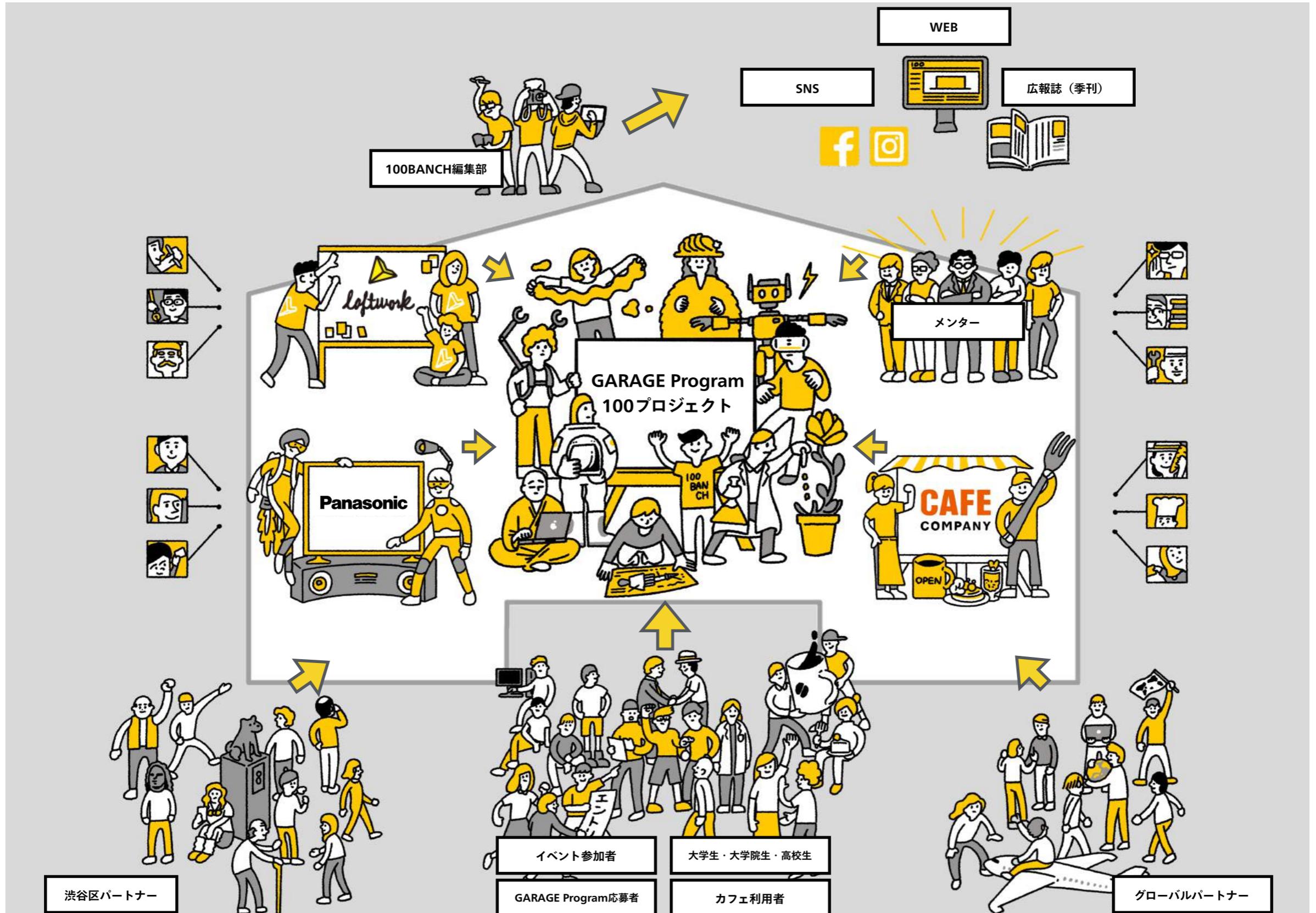
各分野のトップランナーであり実践者である多彩なメンターが、100BANCHで展開されるプロジェクトの審査とメンタリングを行います。分野やジャンルに縛られない多様なプロジェクトを夢やプランで終わらせずに、社会へ実装するための知恵を次の世代へ渡していきます。



※メンターの任期は基本1年間。1年後には新たなメンターにチェンジする計画です

GARAGE Program 多様なネットワークの提供

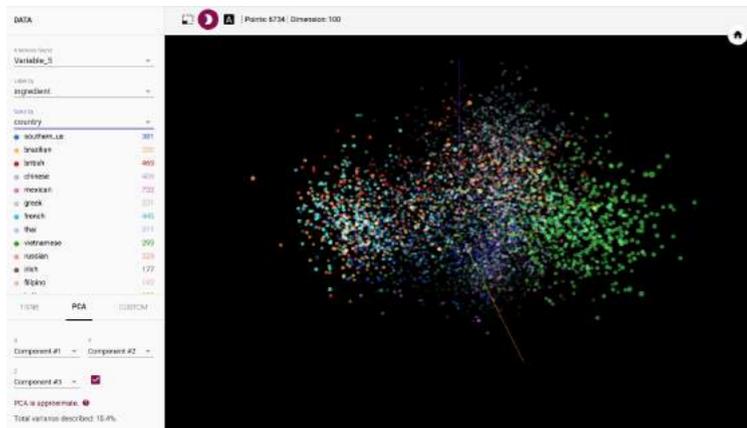
パナソニック、ロフトワーク、カフェ・カンパニーの3社およびメンターは、多様で豊富なネットワークで、採択プロジェクトをバックアップ。さらには、展示やイベントの開催も支援し、渋谷を訪れる人たちを巻き込んだ活動が可能となります。このオープンなネットワークの仕組みが最大の特徴です。



GARAGE Program 採択プロジェクト

公募第1弾（2017年4月12日（水）～2017年5月12日（金）の1ヶ月間の募集期間で集まった68件ものエントリーから、5月26日の審査会で採択されたのは13プロジェクト。この13プロジェクトは、7月7日より2F「GARAGE」に入居し、メンターとともに活動を展開していきます。

Computational Creativity



Computational Creativityで創造する
新たな料理とファッションの世界

メインメンター：石川善樹

「人間」×「コンピューター」という視点から「Computational Creativity」という新しいクリエイティビティを探求。料理とファッションをテーマに、ビッグデータの解析、ビジュアライゼーションなどで新たな可能性を見出す。



PROJECT LEADER

出雲 翔 (いずも しょう)
Age . 27
クリエイター

ECOLOGGIE



昆虫コオロギの大量生産技術の確立と
養魚飼料としての普及

メインメンター：落合陽一

世界の食料問題の解決のために、国連も次世代の食糧資源として注目する昆虫、コオロギを新たな魚粉代替飼料とする事業の実現を目指す。実用化のために重要となるコオロギの大量生産技術の確立のために、IoT生産システムにトライする。



PROJECT LEADER

葦刈 晟矢 (あしかり せいや)
Age . 23
早稲田大学商学部4年

Run your hotel with Smartphone only!



スマホ1つでホテル経営民泊経営
サービス開発とショールーム作り

メインメンター：高宮慎一

誰でもスマホ（タブレット）1つで民泊、ホテルや、ゲストハウス、民宿、ホテルを経営できる世界の実現を目指す。100BANCHでホテルのフロントをイメージしたショールームを再現し、これから宿泊施設を始めの人に体験してもらう計画。

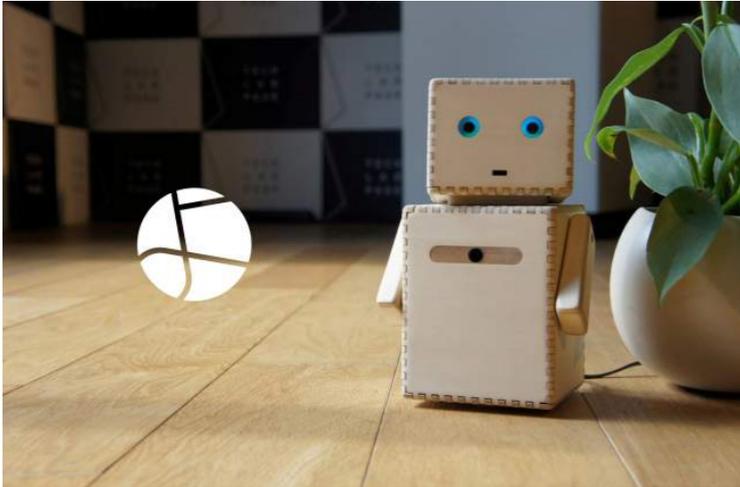


PROJECT LEADER

高野 勇斗 (たかの ゆうと)
Age . 34
株式会社チャプターエイト代表

GARAGE Program 採択プロジェクト

オープンソースなパーソナルロボット“HACO”



能動的に動ける次世代の情報端末
木製ロボットを一家に1台普及させる

メインメンター：鈴木敦子

次世代の情報端末としての木製ロボットを開発する高校2年生がリーダーのプロジェクト。「画面に依存しない、シンプルで使っていて楽しい、操作される前に能動的に動ける情報端末」としてロボットが一家に1台ある未来をつくる。



PROJECT LEADER

東出 風馬 (ひがしでふうま)
Age . 17
株式会社Yoki代表 / 高校生

Shift→プロジェクト



ふんどしを現代風のプロダクトに昇華
世界中でふんどしを楽しむ未来をつくる

メインメンター：落合陽一

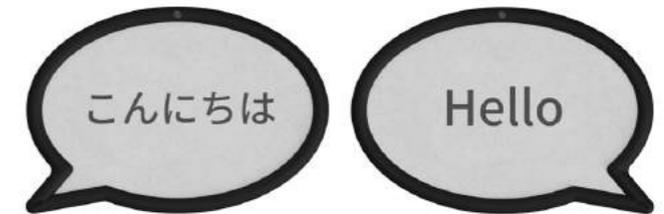
東京大学大学院で筋生理学を修了し、パーソナルトレーナーの経験を持つリーダーの、ふんどしの世界展開計画。日本の衣服ふんどしを現代風にアレンジしたプロダクトを製造・販売。イベントを通して世界でふんどしを楽しむ未来を目指す。



PROJECT LEADER

星野 雄三 (ほしの ゆうぞう)
Age . 28
株式会社ふんどし部 代表

Fukidashi -カジュアルな会話を生む翻訳機-



カジュアルな会話を生む“翻訳機”
会話が見える翻訳を異国観光インフラに

メインメンター：岩佐琢磨

漫画の重要な要素である「吹き出し」。相手に話しかける“きっかけ”を提供することで何気ないカジュアルな会話や交流を生む翻訳機を開発します。グローバル時代のコミュニケーションツールづくりを目指していきます。



PROJECT LEADER

篠原 由美子 (しのはら ゆみこ)
Age . 23
京都工芸繊維大学大学院

GARAGE Program 採択プロジェクト

MonoConnect (モノコネクト)



デジタル造形特化のクラウドソーシングでモノを作りたい人と作れる人が繋がる世界を

メインメンター：高宮慎一

デジタル造形の設計・製造プラットフォームを開発し、デザインやモノを「作りたいが、作れない人」と「作るスキルや装置はあるが、活用の機会がない人」をマッチングして、一点モノを手軽に作れる社会の実現を目指す。



PROJECT LEADER

竹内 国貴 (たけうち くにたか)
Age . 31
Monovation株式会社 代表

SHIBUYA GREEN CARD



街全体が連携したメッシュ型のコワークで渋谷をゆるやかな繋がりで活動できる場に

メインメンター：横石 崇

街全体をコワーキングスペースにするプロジェクト。渋谷を利用する人たちのゆるやかな繋がりをつくるべく、パートナー提携した各社の場所（グリーン席）を自由に使えるようにする仕組みに挑戦。実際にメンバーカードを作り実証実験予定。



PROJECT LEADER

斎 絢矢 (さい あや)
Age . 29
ヒトカラメディア所属

Re:recipe



郷土料理のメディアと食べるサービスを軸に知恵や愛にあふれた暮らしを編み直す

メインメンター：関谷武裕

知恵と愛のつまった郷土料理がテーマ。料理上手のおばあちゃんちでごはんを食べるサービス、郷土料理のwebメディア、郷土料理のレシピ化・メニュー化を行う。知恵や愛にあふれた暮らしを現代に編み直すプロジェクト。



PROJECT LEADER

工藤 大貴 (くどう ひろき)
Age . 25
認定NPO法人共存の森
ネットワーク理事

GARAGE Program 採択プロジェクト

Future Insect Food

Real Insect Food



調理とデザイン。ふたつの文脈・手法から
新たな昆虫料理を創造する

メインメンター：楠本修二郎

調理の文脈・手法からの「食べて美味しい昆虫料理」、
デザインの文脈・手法からの「見て想像力をかきたて
られる昆虫料理」。両方を体験、対比しながら昆虫食
を考える。実験型と発散型のプロトタイプングを繰り返
し、昆虫料理を完成予定。



PROJECT LEADER

高橋 祐亮 (たかはし ゆうすけ)
Age . 24
昆虫食デザイナー、東京藝大
大学院デザイン専攻 (慶應義
塾大学SFC)

Now Aquaponics!



水産養殖×水耕栽培のアクアポニックスを
地球を感じるコミュニティのハブに

メインメンター：岩田洋佳

水産養殖（魚の養殖）と水耕栽培（土を使わずに水で栽
培する農業）を掛け合わせた、新しい農業、アクアポニッ
クス。最も地球にやさしい農業といわれるこのシステム
を、世界有数の大都市渋谷で、地球を感じるコミュニティ
ハブとして提案する。



PROJECT LEADER

邦高 柚樹 (くに たか ゆずき)
Age . 24
株式会社イコム 商品開発部

Caltera

Caltera



「部屋にいる」「いない」が、
遠くからでもスマートにわかるシステムを

メインメンター：田中 開

例えば大学で、先生が部屋にいるかいないかを確認す
るためには、実際に部屋にいかないとわからない。ビー
コンとスマホアプリで、簡単に在室状況がわかるシス
テムを構築しムダを解消。
先生は部屋にはいるだけで在室状況を更新可能に。



PROJECT LEADER

福島 シオン (ふくしま しおん)
Age . 19
国立東京工業高等専門学校
情報工学科5年

GARAGE Program 採択プロジェクト

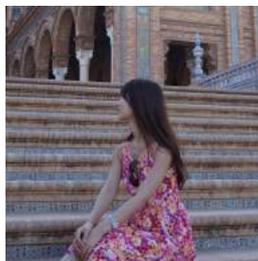
KOKORO



こころの体操メニューを普及させ
こころの健康を日常的に管理する未来を

メインメンター：楠本修二郎

ビジョンはすべての人が、いつでもどこでも手軽に実践できる「こころの体操」の普及。活動性の高い社会人が、燃え尽き症候群などの気分障害にならないために、こころを鍛えるメニューを提案。マインドフルネスなどを施行する。



PROJECT LEADER

宮川 紫乃 (みやがわしの)

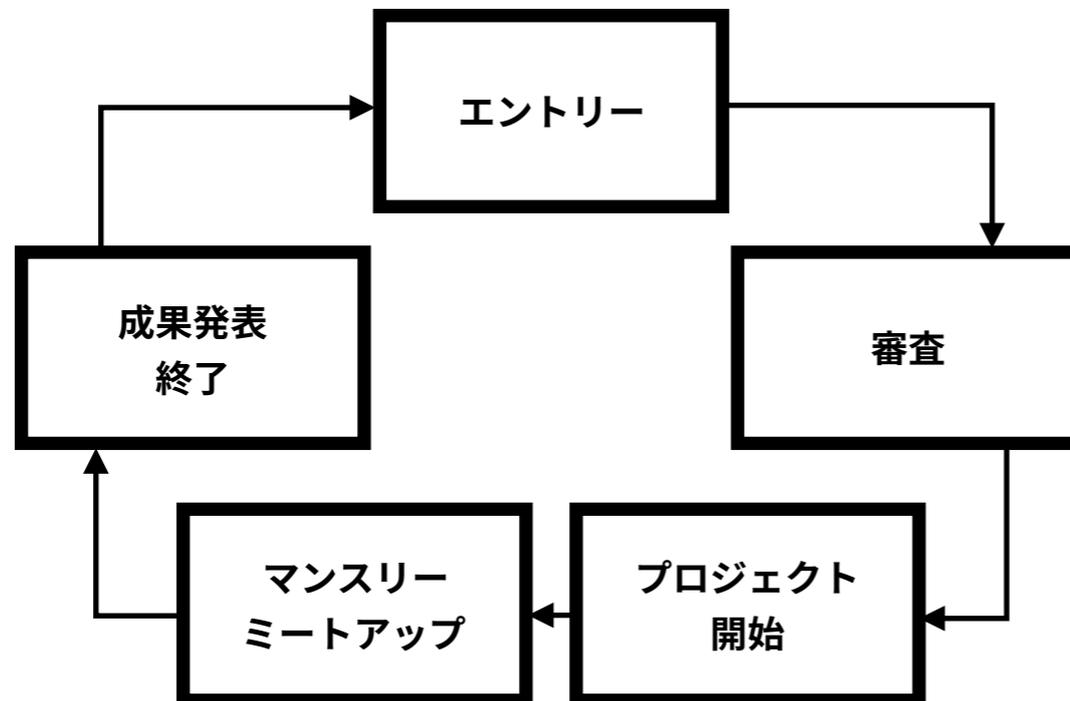
Age . 24

慶應義塾大学大学院 研修医/
ヨガ・マタニティヨガインストラクター

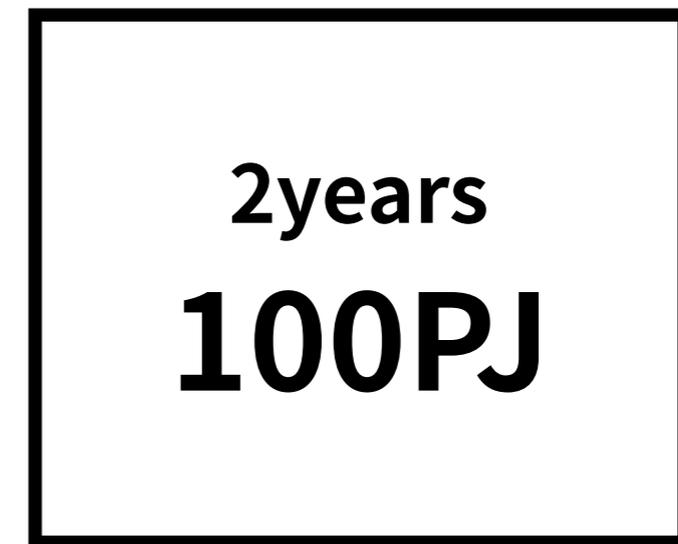
GARAGE Program プログラムのサイクル

応募は常時受け付け、月に一度メンターが集まる審査会で、採択プロジェクトを選定。プロジェクトは最大3ヶ月の期間で実験とアウトプットを繰り返し、成果発表を最後に行いプロジェクト終了となります。このサイクルを継続し2年間で100のプロジェクトを展開予定です。

1プロジェクト最大3ヶ月サイクル



2年間で100プロジェクト



審査基準

- 1：社会や身近な人の役に立つ、あるいはこれまでの既成概念を打ち破る可能性があること
- 2：プロジェクトをどうしても実現したい、という熱い思いが感じられること

応募資格

- ・プロジェクトリーダーの年齢が応募時点で35歳未満であること（メンバーの年齢は問いません）
- ・プロジェクト実施期間中は100BANCHを主要拠点として活動できること
- ・責任を持ってプロジェクトを推進し、社会に向かって訴える意欲と熱意を持っていること

募集対象

100年先の世界を豊かにするような、新しい価値の創造に挑むプロジェクトチーム。
実体験から生まれた動機を伴い、第三者を巻き込みながら進めることができる内容であれば分野や規模は問わないルールにしています。

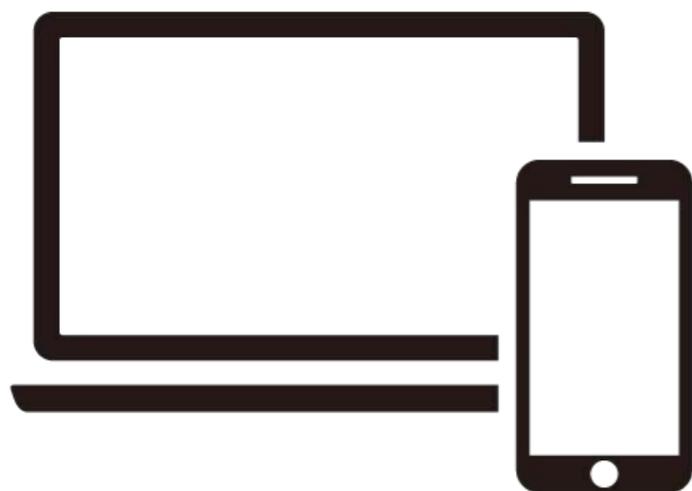
INFORMATION

情報発信チャンネル

100BANCHでは、活動の情報発信とアーカイブをするチャンネルを開設・運営していきます。
100BANCHの場所だけでなく、オンラインコミュニティとしての機能も果たします。

WEB

<http://100banch.com/>



100BANCHのプロジェクトやイベントを発信、
アーカイブするWEBサイトです。プロジェクト
へのエントリーもこちらから受け付けます。

SNS

facebook
Instagram

日々の進捗情報は、Facebook、Instagramで
も発信。インタラクティブにコミュニケーション
できるコミュニティとしても機能します。

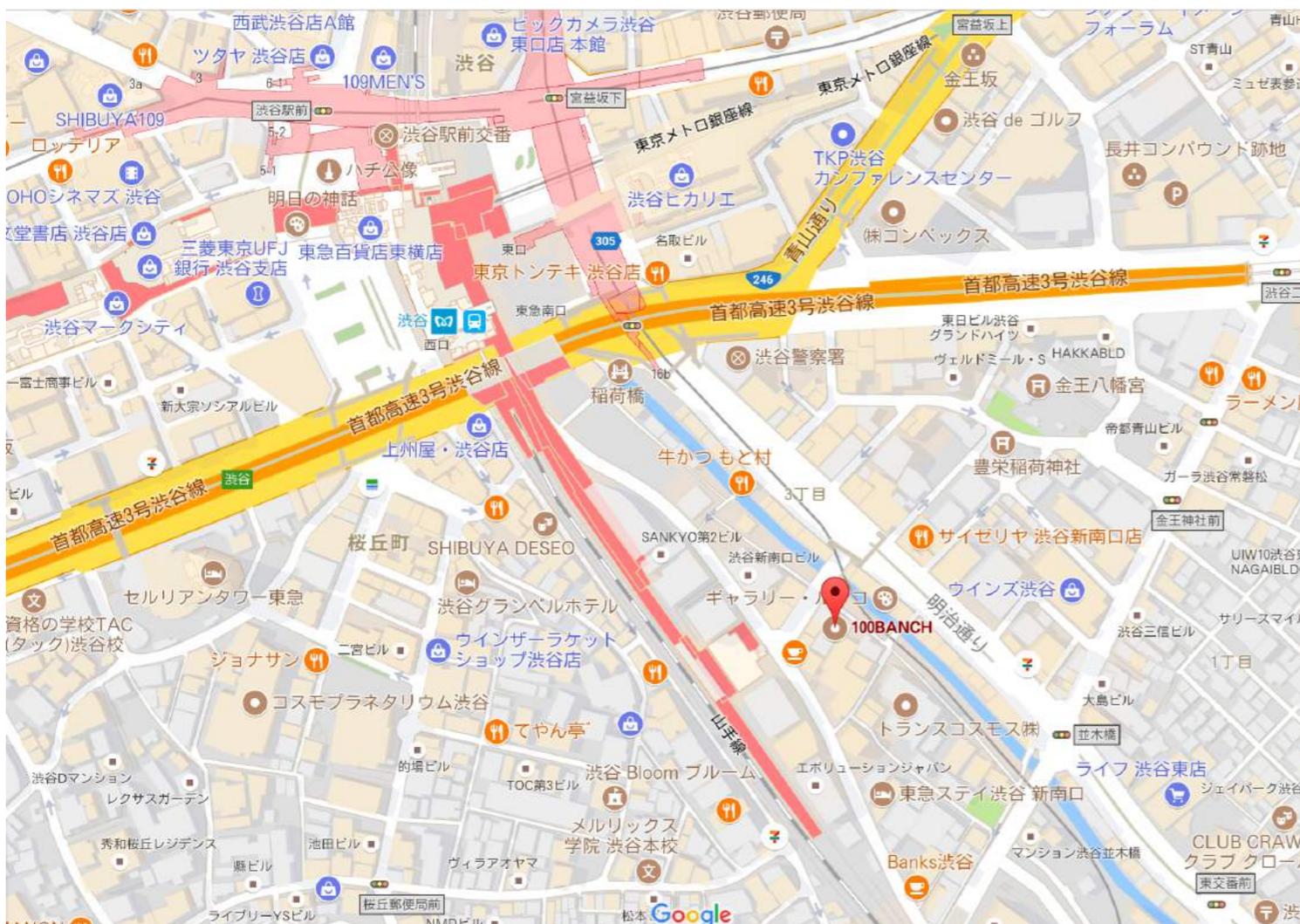
MAGAZINE



季刊で発行する無料のペーパーマガジンです。企業、
学校、クリエイティブ施設で配布します。
※今秋創刊予定

INFORMATION

アクセス



住所

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3丁目27-1

アクセス

JR渋谷駅新南口から徒歩2分

駐車場

なし



INFORMATION



問い合わせ先

100BANCHでは、すべての問い合わせ先の窓口を一本化しています。
内容に応じて、パナソニック、ロフトワーク、カフェ・カンパニーの広報が対応いたします。

※オープンに関する取材の問い合わせは、案内をした各社の広報担当へ直接ご連絡ください。

メールアドレス

contact@100banch.com

企画：パナソニック株式会社 / 株式会社ロフトワーク / カフェ・カンパニー株式会社

2階・3階空間設計・ファサード設計：有限会社スキーマ建築計画

1階空間設計：カフェ・カンパニー株式会社

アートディレクション：COMPOUND inc.

サインデザイン：COMPOUND inc. / ARATA TAKEMOTO DESIGN

WEBデザイン：株式会社アイデアスケッチ

2階・3階・ファサード施工：株式会社TANK

建物改修施工：株式会社辰 / 東急建設株式会社

建物改修設計：株式会社再生建築研究所

建物所有：東京急行電鉄株式会社

Appendix メンター21名のプロフィール



イノベーション
若林 恵

『WIRED』日本版 編集長

1971年生まれ。ロンドン、ニューヨークで幼少期を過ごす。早稲田大学第一文学部フランス文学科卒業後、出版社平凡社に入社。『月刊太陽』の編集部スタッフとして、日本の伝統文化から料理、建築、デザイン、文学などカルチャー全般にかかわる記事の編集に携わる。2000年にフリー編集者として独立。2011年より現職。



シティプライド
長谷部 健

渋谷区長

原宿生まれ、原宿育ち。
(株)博報堂退職後、ゴミ問題に関するNPO法人greenbirdを設立したほか、NPO法人シブヤ大学、NPO法人ピープルデザイン研究所の創設にも携わる。2003年に渋谷区議に初当選。以降、3期連続トップ当選。2015年4月、渋谷区長就任。



食・ライフスタイル
楠本 修二郎

カフェ・カンパニー株式会社 代表取締役社長

1964年福岡県生まれ。早稲田大学卒業後、リクルートコスモス入社。93年大前研一事務所入社、平成維新の会事務局長に就任。その後、渋谷・キャットストリートの開発等を経て、2001年カフェ・カンパニーを設立。コミュニティの創造をテーマに店舗の企画運営を展開するほか、地域活性化事業、商業施設のプロデュース等を手がける。2010年よりクールジャパン関連の政府委員を歴任。東日本の食の復興と創造の促進及び日本の食文化の世界への発信を目的として2011年に発足した(一社)東の食の会の代表理事、より良い未来を創造するために世界中の叢智を編集するために2014年に発足した(一財)Next Wisdom Foundation 代表理事も務める。著書には『ラブ、ピース&カンパニー これからの仕事50の視点』(日経BP社)がある。



サイエンス
落合 陽一

メディアアーティスト、筑波大学学長補佐・助教

東京大学で博士号を取得後、2015年より筑波大学助教 デジタルネイチャー研究室を主宰。同年、自身の企業であるPixie Dust Technologies.incを創業。2017年より大阪芸術大学客員教授、デジタルハリウッド大学客員教授を兼務。視覚・聴覚・触覚を刺激し、よりリアルな存在感を提示する技術開発や研究、アート活動に従事。Prix Ars Electronica、EU STARTS Prizeなど、国内外で数多くの賞を受賞。



多様性
林 千晶

株式会社ロフトワーク代表取締役

1971年生、アラブ首長国育ち。早稲田大学商学部、ボストン大学大学院ジャーナリズム学科卒。花王を経て、2000年にロフトワークを起業。2万人のクリエイターが登録するオンラインコミュニティ「ロフトワークドットコム」、グローバルに展開するデジタルものづくりカフェ「FabCafe」、クリエイティブな学びを加速するプラットフォーム「OpenCU」を運営。MITメディアラボ 所長補佐(2012年～)、グッドデザイン審査委員(2013年～)、経済産業省 産業構造審議会製造産業分科会委員(2014年～)も務める。森林再生とものづくりを通じて地域産業創出を目指す官民共同事業体「株式会社飛驒の森でクマは踊る(通称ヒダクマ)」を岐阜県飛騨市に設立、代表取締役社長に就任(2015年4月～)。



人工知能
石川 善樹

予防医学研究者、株式会社Campus for H共同創業

1981年、広島県生まれ。東京大学医学部健康科学科卒業、ハーバード大学公衆衛生大学院修了後、自治医科大学で博士(医学)取得。「人がより良く生きるとは何か」をテーマとして企業や大学と学際的研究を行う。専門分野は、予防医学、行動科学、計算創造学など。講演や、雑誌、テレビへの出演も多数。近著に『仕事はうかつに始めるな』(プレジデント社)、『ノーリバウンドダイエット』(法研社)など。



IoT・ハードウェア
岩佐 琢磨

株式会社Cerevo代表取締役

1978年生まれ、立命館大学大学院理工学研究科修了。2003年からパナソニックにてネット接続型家電の商品企画に従事。2008年より、ネットワーク接続型家電の開発・販売を行なう株式会社Cerevo(セレボ)を立ち上げ、代表取締役に就任。世界初となるインターネットライブ配信機能付きデジタルカメラ『CEREVO CAM live!』や、PCレスのライブ配信機器『LiveShell』シリーズなどを開発し世界50カ国以上で販売。2016年にはフル可動式ドミネーターを発売するなどその業務範囲を広げている。



リーダーシップ
岡島 悦子

株式会社プロノバ代表取締役社長、グロービス経営大学院 教授

経営チーム強化コンサルタント、リーダー育成のプロ。年間200人の経営者の「経営×人材」領域のディスカッション・パートナーとして、経営者、キャピタリスト等から高く評価される。専門領域はリーダーシップ、ダイバーシティ、キャリア。破壊的イノベーションを創出し、共創環境を整備するためのリーダーシップ論など、組織開発課題に関する先進的な提言を行う。著書、講演多数。三菱商事、ハーバードMBA、マッキンゼー、グロービスを経て、2007年プロノバ設立。アステラス製薬、丸井グループ、ランサーズ、セブテーニ・ホールディングス、リンクアンドモチベーションにて社外取締役。世界経済フォーラム「Young Global Leaders 2007」に選出。

Appendix メンター21名のプロフィール



スタートアップ
高宮慎一

グロービス・キャピタル・パートナーズ (GCP) パートナー / Chief Strategy Officer

GCPではコンシューマー・インターネット領域の投資を担当。投資先に対して社外役員として参画しハンズ・オンでの戦略策定、経営の仕組化、組織作り、国内外の事業開発の支援を実施。戦略コンサルティングファーム、米国デザインファームでのインターンを経てGCPに参画。東京大学経済学部卒(卒論特選論文受賞)、ハーバード大学経営大学院MBA(二年度優秀賞)。



メディア
佐々木紀彦

NewsPicks編集長 / 取締役

1979年福岡県生まれ。慶應義塾大学総合政策学部卒業、スタンフォード大学大学院で修士号取得(国際政治経済専攻)。東洋経済新報社で自動車、IT業界などを担当。2012年10月、「東洋経済オンライン」編集長に就任。リニューアルから4カ月で同サイトをビジネス誌系サイトNo.1に導く。2014年7月にユーザベースに移籍し、NewsPicksの編集長に就任。NewsPicksの編集部を立ち上げるとともに、有料課金サービス、NewsPicksアカデミア(書籍とイベントとコミュニティを融合したサービス)など新たな事業開発にも取り組む。著書に『日本3.0』『米国製エリートは本当にすごいのか』『5年後、メディアは稼げるか』がある。



発明
大嶋光昭

パナソニック株式会社 元 理事・技監、京都大学 特命教授、
(公財) 京都高度技術研究所 フェロー

パナソニックの家電・デバイス・B2B事業分野における基本特許の発明を行い、開発と事業化を数多く成功させている多分野型発明家。ジャイロセンサ、手振れ補正、デジタルTV放送方式、BCA、海賊盤防止技術、光IDなどを事業化。有効な登録特許の件数は海外を含めると1,300件。発明した技術を事業化した事業の累積営業利益は3,000億円。シリアルイノベーターと称されている。受賞・受賞：2004年紫綬褒章受章、2003年恩賜発明賞、2007年大河内記念生産賞、2008年経済産業大臣発明賞、2012年市村産業賞貢献賞など。著書：大嶋光昭「『ひらめき力』の育て方」(亜紀書房、2010)



BAR
田中開

The OPEN BOOK 店主

1991年東京都出身。早稲田大学基幹理工学部卒業、現在は同大学院に在籍中。祖父はゴールデン街をこよなく愛する、直木賞作家の田中小実昌氏。その縁もあり、この街にレモンサワー専門店【The OPEN BOOK】をオープンする。



アート・写真
池田晶紀

写真家

1978年横浜生まれ。1999年自ら運営していた「ドラックアウトスタジオ」で発表活動始める。2003年よりポートレート・シリーズ『休日の写真館』の制作・発表を始める。2006年写真事務所「ゆかい」設立。2010年スタジオを馬喰町へ移転。オルタナティブ・スペースを併設し、再び「ドラックアウトスタジオ」の名で運営を開始。国内外で個展・グループ展多数。アーティスト三田村光土里とのアートユニット「池田みどり」としても活動。



働き方
横石崇

「TOKYO WORK DESIGN WEEK」発起人 / オーガナイザー、& Co.Ltd代表取締役

1978年大阪市生まれ。多摩美術大学卒。広告代理店、人材紹介会社の役員を経て、2016年に& Co.Ltd設立。ブランド開発や事業コンサルティング、クリエイティブプロデュースをはじめ、人材教育ワークショップやイベントなど、企業の内と外において“場の編集”を手法に、新しい価値を生み出すためのプロジェクトを手掛ける。旅する勉強会「ラーニングキャラバン」主宰。『WIRED』日本版 公認コントリビューター。



テレビ×メディア
西村真里子

株式会社HEART CATCH 代表取締役、プロデューサー

国際基督教大学(ICU)卒。エンジニアとしてキャリアをスタートし、その後外資系企業のフィールドマーケティングマネージャー、デジタルクリエイティブ会社のプロデューサーを経て2014年株式会社HEART CATCH設立。テクノロジー×デザイン×マーケティングを強みにプロデュース業や編集、ベンチャー向けのメンターを行う。Mistletoe株式会社フェロー、日本テレビSENSORS.jp編集長。



農業情報科学
岩田洋佳

東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授

1969年生まれ。タイ、インドネシアで幼少期を過ごす。東京大学 農学部卒。東京大学 大学院農学生命科学研究科で博士号を取得。農業と情報科学の融合をテーマに、農研機構(農林水産省系の研究機関)などで研究に従事後、2010年より東京大学 生物測定学研究室 准教授。現在は、ゲノム科学と情報科学の融合による品種改良(育種)の高速化に主眼をおき、中米やアフリカにも研究を展開中。

Appendix メンター21名のプロフィール



漫画
関谷武裕

「トーチweb」創刊編集長

1982年静岡市生まれ。2006年リード社入社。2013年に同社のリブランディングと新規市場開拓を掲げてトーチwebを企画。2014年8月に創刊し現職。移動・休憩時間に気軽にdopeな旅を、トーチwebは辺境の観光地をイメージしてウェブ上の用地（サイト）に開発されている現在進行形の町おこしプロジェクト。webサイト上におけるアーティスト・イン・レジデンスの環境整備、作品の発表やアーカイブを担う図書館の企画運営、名産品（収入源）として紙の書籍や電子書籍の企画制作販売などを行う。



クラウドファンディング
坊垣佳奈

株式会社サイバーエージェント・クラウドファンディング取締役

1983年兵庫県姫路市生まれ。2006年同志社大学文学部心理学専攻卒。2006年にサイバーエージェント新卒入社。新入社員のときにサイバー・バズの立ち上げに携わる。2010年にマネージャー・取締役に昇格。その後、ゲーム事業子会社2社を経て、2013年サイバーエージェント・クラウドファンディング設立と同時に取締役に就任。主にプロジェクト組成・広報PRなどのチームを兼任しながら、地方自治体や金融機関との連携なども担当し、クラウドファンディング市場の拡大に挑んでいる。



高校生
鈴木敦子

NPO法人ETIC. 理事・事務局長

早稲田大学第二文学部卒業。在学中より中国・アメリカなど海外留学・放浪を行う。また各種アルバイトを経験し、ETICの前身である「学生アントレプレナー連絡会議」の勉強会などに参加。自らも起業したいと、能力未熟のまま卒業直後に起業する。ルームシェアのコーディネートの事業を2年半経営して廃業。97年のETIC.事業化に伴い、事務局長に就任しインターンシップのコーディネーター、若手起業家支援などの各種プログラムを実施。現在は、マネジメントサイクル全般、主に人事、組織作りなど担当。年間約200名の起業家や学生の起業相談、キャリア相談を受け、約100社のベンチャー企業と学生のインターンシップのコーディネーターなどの実績がある。



建築
長坂常

有限会社スキーマ建築計画 代表取締役

1998年東京藝術大学卒業直後にスタジオを立ち上げ、シェアオフィス「HAPPA」を経て、現在は青山に単独でオフィスを構える。仕事の範囲は家具から建築まで幅広く及び、どのサイズにおいても1/1を意識した設計を行う。国内外でジャンルも問わず活動の場を広げる。日常にあるもの、既存の環境の中から新しい視点や価値観を見出し、デザインを通じてそれを人々と共有したいと考えている



地域
市川文子

株式会社リ・パブリック 代表、広島県事業「イノベーターズ100」ディレクター、グローバル・リサーチ・ネットワーク「REACH」日本代表

広島県出身。慶應義塾大学大学院にて修士課程修了後、当時まだ珍しかった人間中心デザインの職を求め、フィンランドに渡航、携帯事業メーカー・ノキアに入社。世界各国でのフィールドワークから課題を起点とした製品やサービスの開発に従事。退職後、博報堂イノベーションラボ研究員を経て、2013年株式会社リ・パブリックを創設。現在は持続可能なイノベーションをテーマに地域や組織における環境整備およびプロセス設計の研究・実践を手がける。広島県事業「イノベーターズ100」ディレクター、グローバル・リサーチ・ネットワーク「REACH」日本代表。監訳に『シリアルイノベーター〜非シリコンバレー型イノベーションの流儀』。

設計・デザイン

空間ハイライト



3F LOFT

開放感ある3F。普段のオフィスラウンジからイベントスペースへと改変可能



3F テーブル

スポンジを使ったオリジナルの軽量テーブル。裏面はホワイトボード仕様



2F GARAGE

プロジェクトの構成・文化の変化に合わせて更新されることを想定した空間



2F 照明器具

二股ソケットを使ったオリジナルの照明器具。自由に照明と電源位置を変更可